

一般質問の要約



日高市公共施設再編計画について

金子 博

問 公共施設に関する再編計画の進捗状況は。

答 平成28年3月に今後30年間の取り組みの方向性や基本的な方針を定めた「日高市公共施設等総合管理計画」を策定し、この計画に基づき具体的な取り組みを定める日高市公共施設再編計画を検討している。本年度に入り、教育部との詳細調整を行い、ここで市内6地区の地区別公共施設再編計画案を取りまとめたところである。

問 高萩公民館の建て替え計画は。

答 令和3年度からは施設隣接型の小中一貫教育を本格的に開始する予定で、高萩小・中学校の校舎や体育館、校庭などを一体的に利用していくことが可能となる。そこで、高萩小学校校庭の東寄り、日高市道に接する敷地設定において高萩公

民館と高萩出張所の複合施設の整備を目指したいと考えている。

小中一貫教育について

問 小中一貫教育の説明会を終え、今後の方向性は。

答 今後は、各校で教育内容を整備し、小・中学校9年間を見通したカリキュラムを編成していく。また、小中一貫教育教育課程推進委員会を立ち上げ、小・中学校共通の学校教育目標や目指す15歳像を設定していく。

日高市のごみ処理について

問 ごみを減らす対策は。

答 平成24年度に「ごみの有料化」ではなく「ごみの減量」を強力に推進する方針を示し、集団資源回収奨励報奨金の単価引き上げや、広報ひだかへの減量に関する特集記事の連載、市内各区と連

携したごみ減量の呼びかけ、水切りネットと雑紙専用回収袋の全戸配布を行った。

問 将来的なごみ処理の方向性は。

答 委託先である太平洋セメントと「日高市の可燃ごみ処理に関する協定書」を締結しており、今後数十年は施設の健全性を維持できることを確認した。市としても太平洋セメント埼玉工場での可燃ごみ処理を継続していく方針に変化はない。



太平洋セメント（株）埼玉工場



市内の詐欺被害について

大川戸 岩夫

問 市内では多くの詐欺被害が発生している。被害件数と具体的な内容は。

答 本年8月末現在、市内では14件発生している。内容は、息子や金融機関の職員を名乗るオレオレ詐欺が11件、市役所等を装った還付金詐欺が3件で、被害者は、男女別で女性13人、男性1人となっている。被害金額は、約2千700万円である。前年度と比較すると件数で3.5倍、金額で3.2倍と増加している。

問 具体的などのような対応を行っているのか。

答 防災行政無線や区長を通じた回覧などで注意喚起と啓発に努めている。併せて、地域を青色パトロール車で重点的に巡回し、注意喚起を行っている。

問 具体的な事件内容を1枚綴でカラー印刷し、

広報ひだかに添付することも被害抑止になると考

えるが。

答 詐欺被害が急増しており、今以上に注意喚起が必要と考え、9月1日に緊急告知のチラシを回覧した。今後も関係機関と連携しながら情報提供や啓発に努める。

児童生徒への防犯対策について

問 インターネット犯罪等に巻き込まれないための対策は。

答 埼玉県教育委員会から配信される埼玉県ネットトラブル注意報を見直し、生徒と保護者に配布し、危険性や情報モラルの啓発を行っている。また、ネットアドバイザーなどの専門家を招いて危険性や適正な利用の仕方などの講演を行っている。

通学路の安全確保について

問 市民から障害物等が

通学路にあると指摘を受けた場合、関係機関とどのような連携を図って対応しているのか。

答 児童生徒、保護者や地域の皆様から障害物等が通学路にあったと報告を受けた際は、すぐ現場に行き、状況を確認した上で、関係各課と連携して対応をしている。

★ 「被害にあわない」と思ってる人 8割！

- 在宅でも留守番でんわ。
- 非通知でんわの拒否設定。
- 防犯機能付きでんわ。

あなたのご家族は大丈夫ですか？